

ちょっとだけ!!  
フライングディスク  
将来構想会議  
2020

将来構想メモvol.18(2021/02/16)

Flying Disc Times  
presents

## <ゲストプロフィール>

### 安藤 嶺(あんど う れい)

活動拠点: 関東

所属: 中央大学ラクロス部→仙台Rude ore→Vahul→Darwin(現在)

関わり方: 選手、協会員。高校の体育でアルティメットに興味を持つ

も、大学ではラクロス部に入部。社会人からアルティメットを始める

### 折尾 拓馬(おりお たくま)

活動拠点: 関東

所属: 大阪体育大学アルティメット部(BOUHSEARS)

2012年世界ジュニア(U-19)アルティメット選手権大会出場

現在、東京都フライングディスク協会所属

関わり方: 協会理事としてフライングディスク普及に携わる

<フライングディスクをこうしていきたい>

- ・学生連盟の復活
- ・学校への特別授業による普及活動

<困っていること / 課題>

- ・東京都協会に期待していることを知りたい
- ・JFDAと各都道府県協会の役割と分担

<考えている解決策>

- ・オンラインで完結する「学生連盟」の設立

: 実働のイベントの開催が難しい情勢なので、オンラインで完結させる

→ 将来構想会議と同様に、テーマを設定して議論を交わす

- ・「色々な人」が参加しやすいイベントの開催

→ 競技志向が高い人だけでなく、地元の人や初心者、久しぶりにディスクを投げる人などの受け皿となるようなイベント

→ JFDA主催大会だと上記のような人は参加のハードルが高い

- ・小回りのきく競技会ではない大会の企画

→ その地域の幅広い世代への普及活動

→ 「大会」という形にとらわれず「講習会」「体験会」の開催など

<論点の整理>

・**情勢に合わせた活動方法**

協会内の会議にとどまらず、イベントもオンラインで開催し様々なニーズに応えられるようにする

・**「競技強度」やその地域の「世代」に合わせたイベントの開催**

扱う地域が限定されているので、参加者のニーズに合わせたイベントを開催しやすい。子どもや親子部門など全国規模の大会では拾えない世代や、初心者を対象とするイベントなど。そのチームの「強さ」を競う大会だけでなく「楽しむこと」に重きをおくこともできる。



## 会議内で使用した資料

---

以下のページは将来構想会議内で使用した資料です。

テーマ：東京都フライングディスク協会 基本事業

作成：一般社団法人東京都フライングディスク協会







- . / ' ( 0 1 (

! " # \$ % & ' ( ) \*

! " # \$

! + , - . / 0 1 2 3 4 5 6 7 ( 8 9

! : ; : 1 < 6 = > 6 ? ( @ A 1 B C D E F G

! H I J K L " # M N O P Q 7 R = ( F G

% & ' ( # \$

! S T M N # U V W X ( F G

! : L Y Z [ \ ] ^ \_ ' a b c ' [ d ( e 6 f 6 g h ( i j k l

) \* + , # \$

! m n o p ( 8 9 1 q r s t m n u v ( w x 1 y z { | 6 }

! ~ , + ( U k ( x

! " # \$ % & ' ( ) \* +  
, - . ' / 0 1 2

! " # ( - .

! 6 7 R } # ( x





【本資料ご利用にあたっての注意事項】

- ・本資料に記載の内容は全て2020年12月現在の情報をもとに作成したものです。
- ・本資料に記載の内容は予告なく変更することがあります。
- ・本資料で使用される商標、ロゴ、商号に関する権利は、当協会またはそれぞれの権利の所有者に帰属します。
- ・本資料の内容に関する一切の権利につきましては当社に帰属し、本資料の全部または一部を当社の文書による事前の承諾なしに転載または複製することを固くお断りいたします。